

印西市公共下水道事業 事業再々評価(汚水)

平成20年11月

千葉県印西市

印西市の概要

- 本市は、情報発信都市東京と国際空港都市成田を連結する重要な地域にあり、千葉ニュータウン地域には大型の商業施設等の進出があります。また、利根川、手賀沼、印旛沼と三方を水に囲まれ、市街地周辺では、緑豊かな里山や田園が広がり、自然の恵みから、米、スイカ、メロン、梨等、多種多彩な農産物が生産され多くの消費者へ届けられています。



事業の必要性(汚水)

- 生活環境の改善
- 公共用水域の水質保全
手賀沼流域関連公共下水道として整備を進めており、手賀沼は内水面漁業、農業用水として利用され、また観光面等でも貴重な水資源となっている。

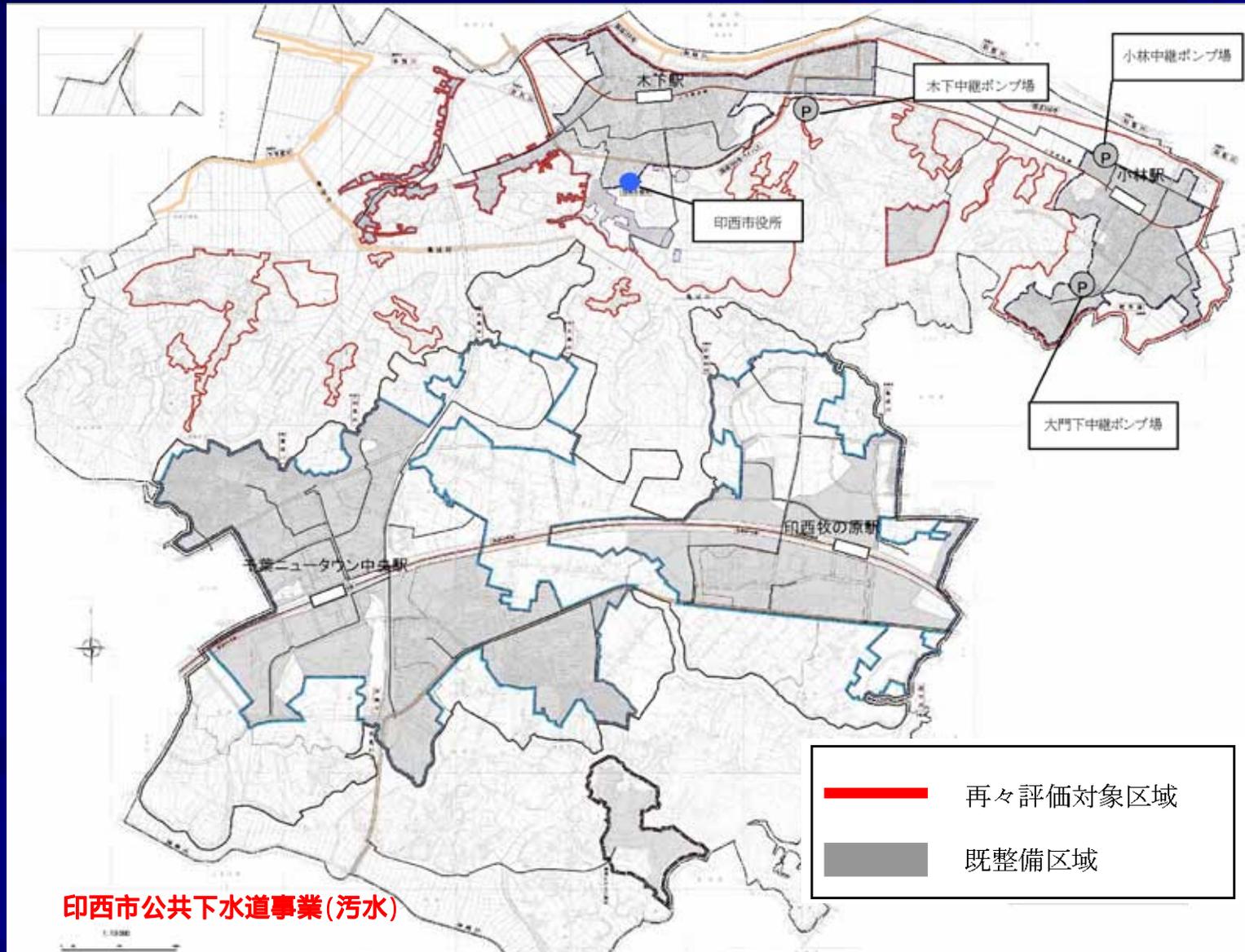


写真:大森地区



写真:利根川

下水道事業の概要(汚水)



印西市公共下水道事業(汚水)

指標1 費用効果分析(汚水)

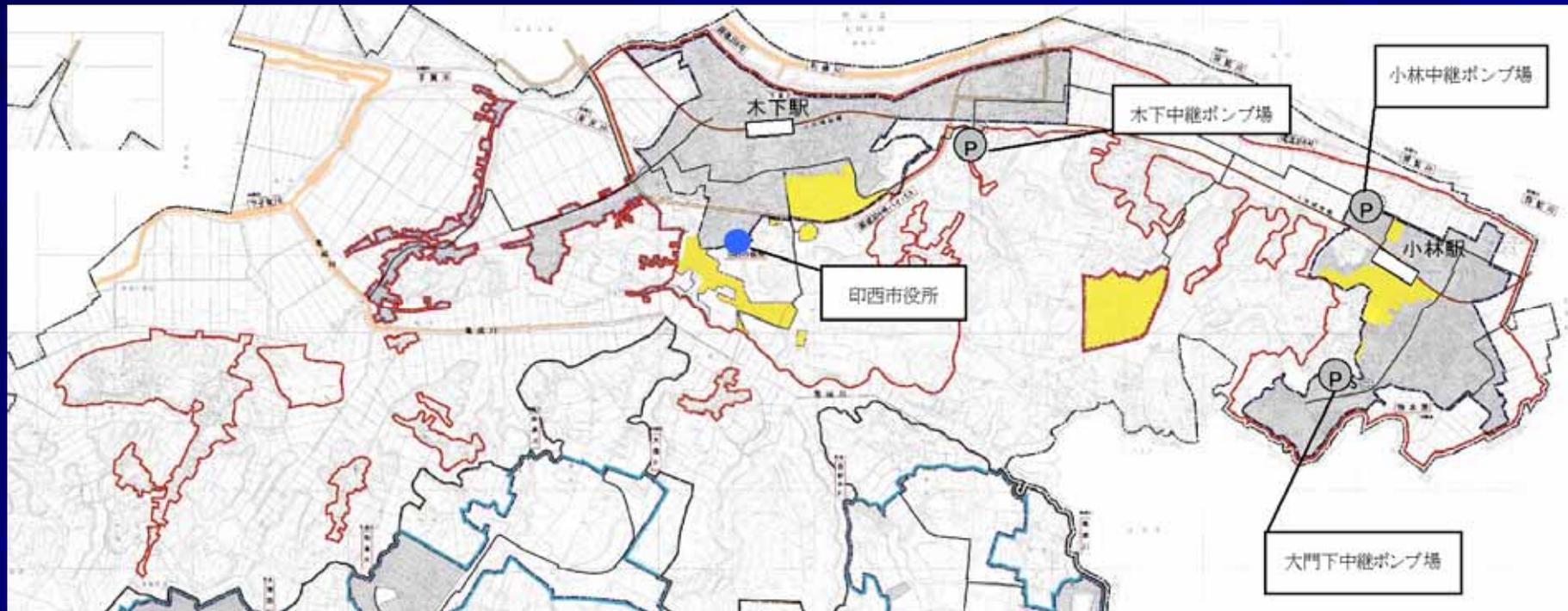
総便益(B)	677 億円
総費用(C)	422 億円
費用便益比(B / C)	1.6

指標2 事業の進捗状況(汚水)

指標	状況
事業の進捗状況	平成20年度末時点の整備面積見込みは、事業計画413haに対して385haを整備し、整備率は93%である。
処理場用地の取得状況	-
処理施設の供用状況	-
供用開始区域の接続状況	接続率は95%である。
地元情勢等	印西市議会の理解及び地元住民の理解・協力は得られている。

指標2 事業の進捗状況(汚水)

印西市公共下水道事業(汚水)



— 再々評価対象区域

■ 昭和49年～平成10年まで整備

■ 平成11年～平成20年まで整備

指標3 社会経済情勢等(汚水)

指標	状況
社会経済情勢	新たな開発等もなく、下水道事業に影響のある大きな社会経済情勢の変化は特はない。
自然環境条件	水質汚濁に係る水質環境基準の新たな設定等、下水道事業に影響のある要因はない。
計画変更の有無及びその程度	全体計画及び事業計画について、必要に応じ適切に見直している。

指標4 コスト縮減・代替案(汚水)

指標	状況
コスト縮減	アスファルト合材・路盤砕石等再生資材の利用によりコスト縮減に努めている。
代替案	本市の市街化の状況から、代替としての浄化槽整備よりも、下水道整備が最適。

対応方針(汚水)案

- 印西市公共下水道事業(汚水)は順調に進展しており、今後も順調な進展が見込まれることから、当事業を継続していく方針です。

印西市公共下水道事業 事業再々評価(雨水)

平成20年11月

千葉県印西市

印西市の概要

- 本市は、情報発信都市東京と国際空港都市成田を連結する重要な地域にあり、千葉ニュータウン地域には大型の商業施設等の進出があります。また、利根川、手賀沼、印旛沼と三方を水に囲まれ、市街地周辺では、緑豊かな里山や田園が広がり、自然の恵みから、米、スイカ、メロン、梨等、多種多彩な農産物が生産され、多くの消費者へ届けられています。



事業の必要性(雨水)

- 浸水による被害から住民の安全を守る

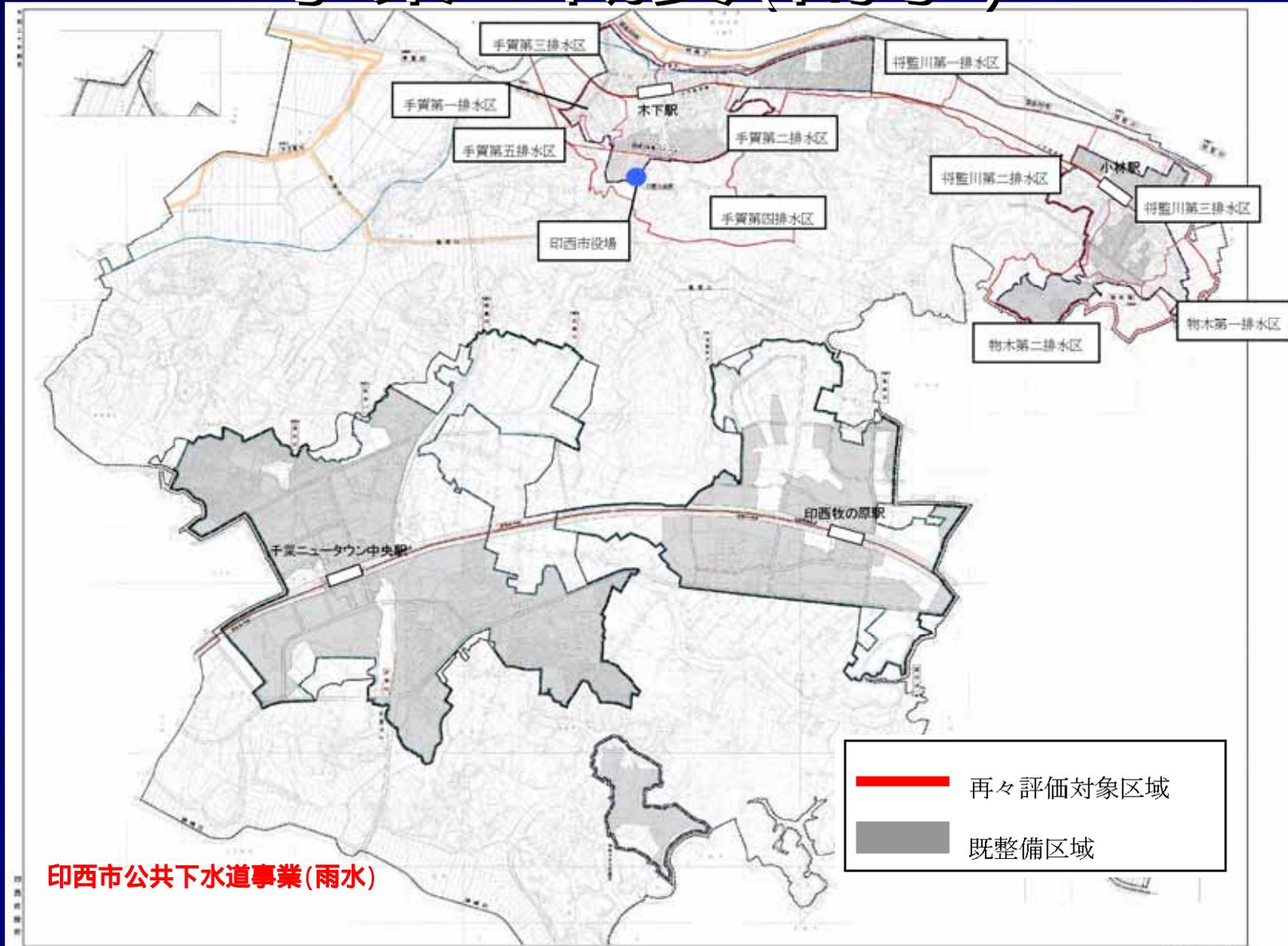


(写真:木下地区)

(撮影:平成15年10月13日)



事業の概要(雨水)



指標1 費用効果分析(雨水)

総便益(B)	340 億円
総費用(C)	122 億円
費用便益比(B / C)	1.2 ~ 4.4

指標2 事業の進捗状況(雨水)

指標	状況
事業の進捗状況	平成20年度末時点の整備面積見込みは、事業計画318haに対して159haを整備し、整備率は50%である。
地元情勢等	印西市議会の理解及び地元住民の理解・協力は得られている。

指標2 事業の進捗状況(雨水)

印西市公共下水道事業(雨水)



— 再々評価対象区域

昭和49年～平成10年まで整備

平成11年～平成20年まで整備

指標3 社会経済情勢等(雨水)

指標	状況
社会経済情勢	新たな開発等もなく、下水道事業に影響のある大きな社会経済情勢の変化は特はない。
計画変更の有無及びその程度	全体計画及び事業計画について、必要に応じ適切に見直している。

指標4 コスト縮減・代替案(雨水)

指標	状況
コスト縮減	アスファルト合材・路盤砕石等再生資材の利用によりコスト縮減に努めている。

対応方針(雨水)案

- 印西市公共下水道事業(雨水)は、今後も引き続き整備が必要であることから、当事業を継続していく方針です。